

Press Release

報道関係者各位



2016年6月10日
ジー・ブーン株式会社

日本でも経験できないフォトスタジオがタイに登場
おいらん
侍と花魁の世界で優れた和文化をアジアに
 憧れの日本が体感できるオープン型フォトスタジオ「姫と侍」6月11日グランドオープン

ITサービス事業を運営するジー・ブーン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:後藤稔行)はタイ・バンコクで、戦国武将の甲冑と花魁(おいらん)衣装を着て撮影出来るオープン型フォトスタジオ「姫と侍」を、2016年6月11日(土)にグランドオープンします。

■高級ホテル内の博物館級の甲冑が並ぶスタジオ

今回オープンする「姫と侍」は、バンコク中心地にあるインターコンチネンタルホテル敷地内に位置します。このスタジオは、全面ガラス張りのショーウインドウで、店内の花魁スペース、侍スペース、手裏剣道場の3ブースが外から見える設計になっています。既に5月26日にプレオープンしたところ、早くもスタジオ前には多くのギャラリーが殺到し、写真撮影など現地の人達の注目を集めています。



■花魁の着付け師直伝によるメイクと着付け

「姫と侍」は、日本でも大人気の戦国武将の徳川家康、織田信長、豊臣秀吉、直江兼統、真田幸村、伊達正宗の甲冑が一堂に展示され、さながら博物館級の外観です。その高級甲冑を実際に着用でき、尚かつ撮影することができます。花魁も同じく、高額な色打掛、着物等を日本から取り寄せ、ヘアメイクや着付けは、浅草花魁道中の着付け師から直接指導を受けたスタッフによる本格的なものです。一般的なスタジオ撮影は閉鎖的な空間で行うのが常識ですが、高級ホテル内の全面ガラス張りの当スタジオは、



上:戦国武将の甲冑が並ぶショーウインドウ
下:スタジオ内の花魁ブース

多くのギャラリーがその撮影模様を見に賑わいます。そのため、被写体はいつきに女優・俳優気分となります。また、スタジオ内には「手裏剣道場」コーナーを設けており、手裏剣投げも楽しむことができます。手裏剣がダーツに当たると、タイ人スタッフが日本語で「当た〜り〜！」と言いながら太鼓をドンドンと叩くアミューズメントも兼ね揃えており、多

くの観客から「ニンジャダーツ、ハッピー」と喜びの声で溢れています。これらを利用するためのチケットは、併設している当社運営のジャパン・ギフト・ショップ「夢日(ゆめび)」で販売しています。

■優れたメイド・イン・ジャパンをアジアに広めることが当社の使命

当社は設立以来、ITエンジニアのアウトソーシングやソフト開発など、IT関連のサポートサービスを主な事業として行ってきました。また、当社が掲げる事業戦略の1つには“メイド・イン・ジャパン”を復活させるミッションがあります。かつて世界中のあらゆるところに日本製品があふれ、日本製品は技術的にも機能的にも優秀であることが認められています。しかし、現状として日本はグローバル化の潮流に後れをとっています。世界との競争の中で、日本経済が生き残るには、その実力を向上するだけでなく、海外へも目を向けていかなければいけません。

今後、世界経済の7割がアジアに集中するといわれている昨今、アジア諸国から日本へ対しての見方も下がってきたと認めざるをえません。そして、少子化、高齢化、人口減少と日本の経済成長を下げていきます。一方、アジア諸国の伸びは凄まじい勢いで伸びており、このままでは日本は国際競争力に負けアジア諸国の中でも日本の魅力や憧れ度は冷めてしまいます。

いつまでも、日本は憧れの国であって欲しい。その強い思いをアジアマーケットに広めるべく、その基盤として、2011年にタイ、バンコクにオフィスを設けました。そして、たくさんの素晴らしい日本製品をアジアへ発信する第



1弾として、選りすぐりの商品展開と内装も新たに、今年の3月にジャパン・ギフト・ショップ「夢日(ゆめび)」をリニューアルオープンし、今回はその第2弾として、日本でも経験が出来ないタイ初のオープン型フォトスタジオ「姫と侍」を6月11日にグランドオープンする運びとなりました。

■25,000人の会員に日本の魅力を伝える

当社ではタイで25,000人の会員に向け、「ジャパンドリームニュース」という名のメールマガジンを流しています。タイは親日で、日本に憧れを持っている人が多く、メルマガには、サッカー場で観客がゴミを持ち帰るなど日本の美意識やトピックスを伝え、人気を得ています。現在、タイ全土には7,000社以上の日系企業が進出し100万人以上の日本人が働き、タイの人口に占める割合は1.5%と、もはや日本とは切っても切れない関係となっています。



当社併設のジャパン・ギフト・ショップ「夢日(ゆめび)」

また、タイ人の消費行動として、現在所得の拡大か

ら質を重視し、その上情報に敏感でワンランク上の商品を求める傾向が進んでいます。「日本製品、日本サービス、日本人はやっばりいい」といった日本に対しての憧れ文化を広めていくと共に、今後はこのメールマガジンをタイに進出している日系企業のコマーシャルとして使用していくなど、日本企業のタイ進出を促進する仕組みを考えていきます。

タイからスタートした本事業は、今後アジア全域をカバーするサービスを目指し、近い将来アジア全域に再び“メイド・イン・ジャパン”ブランドを世界No.1ブランドに戻すことを考えています。

■店舗概要

- 店舗名 姫と侍
- オープン日 2016年6月11日
- 住所 Room L05.L06.Lobby Floor,President Hotel and Tower,
973,Ploenchit Road, Lumpini, Pathumwan,Bangkok 10330,Thailand
- 営業時間 10:00～20:00
- T E L +66(2)656-0137
- E-mail hime-samurai.studio@zeeboon.co.th
- ターゲット層 平均2万～3万パーツの所得のある25～50歳の男女
- 店舗面積 70㎡
- サービス内容

◆男性

- | | | |
|-----------|--------------------|--------------------|
| お試しコース | 6,000パーツ(18,000円) | 10分間制限 自分の携帯で撮るコース |
| スタンダードコース | 12,000パーツ(36,000円) | プロのカメラマンによる30カット撮影 |

◆女性

- | | | |
|-----------|--------------------|------------------------------------|
| スタンダードコース | 12,000パーツ(36,000円) | プロによるメイクと着付け
プロのカメラマンによる30カット撮影 |
| プレミアムコース | 15,000パーツ(45,000円) | プロのヘアメイクと着付け
プロのカメラマンによる50カット撮影 |

◆忍者ダーツ

- | | |
|--------------|---------|
| 100パーツ(300円) | 5回チケット制 |
|--------------|---------|



もはや気分は戦国武将！



艶やかな花魁スタイル

＜本件に関するお問い合わせ先＞

ジー・ブーン株式会社
 広報担当 : 岩上/田村
 電話 : 03-5207-8180
 E-mail : pr@zeeboon.co.jp

ジー・ブーン広報事務局
 担当 : 新保
 電話 : 03-5411-0066
 FAX : 03-3401-7788
 携帯 : 080-9874-4858
 E-mail : pr@real-ize.com

参考資料

■タイ現地法人 ZEEBOON Bangkok Co., Ltd.

- 社名 ジー・ブーン・バンコク株式会社
- 英文社名 ZEEBOON Bangkok Co., Ltd.
- 代表取締役 Toshiyuki Gotou(後藤稔行)
- 所在地 Room L40,Lobby Floor,President Hotel and Tower,
971,973,Ploenchit Road, Lumpini, Pathumwan,Bangkok 10330,Thailand
- T E L +66(0)2656-0035
- ホームページ <http://www.zeeboon.co.th>
- 設立 2011年6月1日
- 資本金 400万バーツ
- 事業内容 タイビジネス支援事業
メイドインジャパン雑貨 SHOP の運営

■会社概要

- 社名 ジー・ブーン株式会社
- 英文社名 ZEEBOON Co., Ltd.
- 代表取締役 後藤稔行(ごとうとしゆき)
- 本社所在地 東京都千代田区神田須田町 2-19
野村第3ビル 6F
TEL 03-5207-8180 FAX 03-5207-8189
- ホームページ <http://www.zeeboon.co.jp/>
- 設立 2006年7月7日
- 資本金 4,180万円
- 事業内容 IT支援事業
タイビジネス支援事業
メイドインジャパン雑貨 SHOP の運営
教育セミナー事業

※ 当社は、企業と社員、双方の夢実現の為に働く2ゴール達成企業「ドリーム企業(※商標登録第5592966号)」並びに「ドリームマネージメント(※商標登録第5539813号)」を目指しています。

■事業概要

ジー・ブーン株式会社は「ドリーム企業」という定義のもと、様々な事業を展開しています。当社は夢の大切さを理解しており、企業の夢と社員の夢を融合させてこそ、最大のパワーが発揮されると考えています。現在は、IT支援事業、タイビジネス支援事業、メイドインジャパン雑貨SHOPの運営、教育セミナー事業など様々な事業を展開しており、今年にはさらにタイで新たに新事業を展開する運びとなりました。今後も更に新しい業態の事業を計画し、夢を叶えたい企業と人へ夢を叶える為に必要で有利なモノやサービスを提供していきます。

■社名の由来

ジー・ブーン (商標登録第 5218618 号)

ジー・ブーン(株)の社名は、「自分・自己」があってこそその企業である姿を表現しています。ZEE の「Z」はアルファベットで一番最後の文字になります。即ち、Z は「究極の完結」を意味し、BOON は英語で「利益・賜りもの」を指します。つまり、自分達の英知や努力をもって、究極の「恵み」を獲得していく想いがこめられています。

■シンボルマークについて



全文字異なる色を使用していることは、色んな個性があって良いことを意味し、また、「O」の目のマークと「N」の「↑」矢印が組み合わせることで、自分をしっかり見ながら自ら向上(成長)させていくことを表しています。



「ジブの夢冒険」に登場する竜(ドリームドラゴン)。人々の夢を追いかけるエネルギーを糧に成長を続け、全世界に沢山の夢の種を放出することができるようになる。全世界がもっともっと夢で満ち溢れるようにという願いが込められています。